

### 目的

23区の東部から北部にかけての下町エリアを中心に、中小規模の製造業等が事業拠点を構えていたが、都市構造の変化によりそれらは徐々に減少する傾向にある。こうした小規模な事業所は、住居が併設されていることなどの理由により廃業後も活用されないことが多く、所有者の高齢化や相続等によりそのまま空き家化する事例が多い。一方で各区では個別の事業者へのヒアリング等を通じ将来的な廃業や縮小、移転等の可能性について把握している事例が確認できているため、これを生かした空き家発生の抑制に取り組む。

### 取組内容

小規模な製造業等の事業者に対し、事業縮小や廃止等に先立ち建物の活用方法等の情報を提供することにより、縮小や廃業の際に空き家が生じることを防ぎ、活用へとつなげることを目指した。その方法として、活用の検討の際に必要な情報の提供のための配布物を作成し、事業者配布した。配布については、当社が直接実施するのに加え、区や製造業等の業界団体、地域での活動に取り組む事業者等との連携により、補助事業の期間後も含めた継続的な配布を可能にすることを目指し、体制の構築に取り組んだ。

#### 手順と内容

##### ①活用手法の整理と、配布可能な資料等のツール作成

小規模な製造業等の事業者や、事業用建物の所有者に対し、建物の活用を促し、活用の検討に際して必要な情報等の提供を行うことを目的に、情報をまとめた冊子を作成した。

##### ②荒川区以外の自治体との連携体制の構築

各区の産業系の部署に連携を提案。区内の製造業等の事業者が縮小や廃業をする際に、冊子を使った情報提供を行う取り組みを行った。

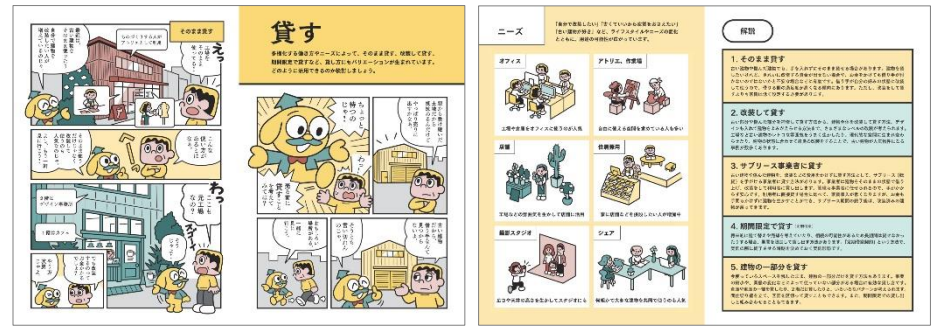
##### ③商工会、業界団体、信用金庫等の金融機関との連携体制の構築

各業種の業界団体と連携し、それらを通じた製造業等の事業者への情報提供を目指し、連携の打診と意向のヒアリングを行った。

##### ④個別の事業者へのアプローチと情報提供・活用提案

町工場等の製造業の拠点多い地域を選定し、現地にてポスティング等による資料の配布を行うことで、事業者への情報提供を行った。また各地域の地域プレイヤーと連携した情報提供や発信を目指し、こうした事業者の開拓も行い、各プレイヤーの拠点での資料配布等を行った。

### 成果



■ 配布可能な資料等のツール作成  
高齢者にも分かりやすく、不動産の知識がない事業者にも親しみの湧く内容の冊子を制作した。イラストを豊富に使用し、ストーリー形式のマンガで表現。またリノベーションや想定される利用者の情報など、当社独自の情報なども盛り込んだ内容とした。

#### ■ 自治体との連携による資料の配布

3つの区で冊子を活用した事業者への情報提供を行った。

#### ■ 個別の事業者へのアプローチと情報提供

資料配布は、直接（約800件）と、9件の地域プレイヤーを通じて実施した。